

精子DNA損傷検査について

通常の精液検査では、精液中に精子がどれくらいいるか(数)、どれくらい動いているか(運動率)を測定します。しかし、どんなに運動性や形が良くても、その精子の核(DNA)がどのような状態かを知ることとはできません。

この検査でわかること

① 精液中に“DNAが傷ついた精子”がどの程度いるか(DFI値)がわかります。

この値が30%以上だと人工授精での妊娠率が低い、IVFよりもICSIの方が妊娠率が高い、15%以上だと胚盤胞率が低下する、という報告があります。

② 精液中に“未熟な精子”がどの程度いるか(HDS値)がわかります。

この値が15%以上だと、人工授精よりも体外受精の方が妊娠率が高いという報告があります。

(Evenson DP, et al. Hum Reprod. 1999)

(Bungum M, et al. Hum Reprod. 2004)

(Virro MR, et al. Fertil Steril. 2004)

(Sedó C, et al. JBRA Assist Reprod. 2017)

予約

① **完全予約制**です。

② 予約希望日の前日16時まで(クリニック診療日に限ります)、@linkアプリ・Webからご主人(パートナー)の診察券番号で精液検査・精子凍結保存の「**精子DNA損傷検査**」を選択して予約をお取りください。

◎ **月曜日に予約を希望される場合は、土曜日の16時まで**に予約をお取りください。

◎ **予約を取らずに来院されても、検査はお受けできません**のでご注意ください。

◎ **予約当日にキャンセルをされる場合は、必ず当院に電話にてご連絡**ください。

検査の流れ

① 採取してから**3時間以内**に精液をご提出ください。

② 精液の一部を外部検査機関で検査します。

③ 約3週間で検査結果が出ます。結果説明には松下先生の診察が必要です。男性不妊外来枠で予約をお取りください。

* 検査結果は連休等により3週間以上かかる場合がございます。

注意点

● 禁欲期間は通常の精液検査と同様に2~7日間で大丈夫です。

● 精液の状態(精子の数が少ない等)により、検査依頼後に正確な結果が得られない場合や検査が行えない場合があります。その場合でも、検査費用の返金はできかねますのでご了承ください。検査が行えなかった場合など、胚培養士からメールで連絡をさせていただく場合がございます。

費用

[こちら](#)をクリックしてご確認ください。

ご不明な点がございましたら、医師または看護師にご相談ください。